

「いきいきiネット」が始まります！

「いきいきiネット」って？

行政、医療機関・介護施設、薬局、訪問看護ステーション、在宅サービス提供者間を結ぶネットワークです。在宅医療患者や家族が安心して在宅療養を継続することができるように、医療と介護の連携推進を図るものです。

「いきいきiネット」を活用し、多職種が連携した多くの情報を元に高い医療・介護福祉サービスを提供することを目的としています。



どんなメリットがあるの？

医療・介護連携の効率UP！！

従来の電話やメール、FAX、連絡ノートとは異なり、インターネットに繋がるスマートフォン・タブレット・PC端末さえあれば、いつでもどこでも情報共有が可能です。また、患者様の患部やADLの状態等、写真や動画の共有も可能なので、わかりやすく、効率よく情報共有できます。

安心安全なセキュアな環境！！

各省庁の法令・医療情報関連等のガイドラインに準拠したネットワークです。また、ユーザーID・パスワードに加え、電子証明書をインストールした端末のみ「いきいきiネット」を使える仕組みになっているので、安心安全にお使いいただけます。

皆様も「いきいきiネット」を始めてみましょう！

お問い合わせ先

公益社団法人 取手市医師会

電話：0297-70-7277



「取手市医師会 電子@連絡帳」で検索、または上記QRコードから移動できます。



茨城県医師会 松崎 信夫 副会長より

少子高齢者社会そして人口減少を迎える我が国にとって、各地域に根ざした「地域包括ケアシステム」を築くことは「まちづくり」で最も大切なことの一つです。特に在宅での医療介護を必要とされる方への支援を円滑に進めるためには、関係者のICTを活用した情報共有はかせません。「いきいきiネット」は、県内の自治体のほか全国各地利用されている、非常に安全な環境の下での情報共有のほか、地域で利用可能な医療・介護資源の情報も提供いたします。是非多くのおみなさまの利用をお願いいたします。

取手市医師会 石井 啓一 理事より

取手市医師会では、お年寄りや勤労世代、子供たちがともに安心して暮らしていけるまちづくりを進める一助となるべく、行政や医療・介護従事者と在宅医療と介護の連携づくりに取り組んでまいりました。「いきいきiネット」はICT技術を用いて医療・介護従事者の良好で迅速な連携を保証するものです。在宅や施設で過ごす患者（利用者）様により血の通った温かい医療と介護の提供ができるようになると考えています。将来は、小児や障害者などにも適用を広げ災害対策などにも役立てるなど、一歩進んだ街づくりを目指します。

「IJ電子@連絡帳サービス」とは？

IJ電子@連絡帳サービスは、名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部先端医療・臨床研究支援センターとの共同研究・開発により、全国の行政や医師会が「地域包括ケア」を進められるよう、クラウド型サービスとしてIJが事業化しました。

在宅医療・介護は、主治医、訪問看護師、ケアマネージャ、理学療法士、歯科医師、薬剤師、介護士など、多くの組織・事業所に所属する専門職が一人の患者様を診ることで初めて成立します。その際、異なる組織に属し、さまざまな資格をもつメンバーが、患者さんの機微な個人情報を取り扱うため、セキュリティや災害対策に十分配慮し、各省庁の法令・医療情報関連等のガイドラインにも準拠しています。IJが得意とするクラウドやネットワーク、セキュリティの技術を用いて、2017年からサービスを開始し、2020年1月現在、全国約60の行政・地域でおよそ1万5000名の専門職が日々活用しています。

